

コクサイ・ケイマン・トラストー

米ドル建 米ドルヘッジ
国際・キャピタル 日本株式オープン
豪ドル建 豪ドルヘッジ
国際・キャピタル 日本株式オープン

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

愛称:KCジャパン

償還交付運用報告書

作成対象期間 第11期
(2023年10月1日～2024年9月30日(終了日))

その他記載事項
償還運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufig.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの償還運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社
ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.

代行協会員
三菱UFJモルガン・スタンレー
証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、コクサイ・ケイマン・トラストー 米ドル建 米ドルヘッジ 国際・キャピタル 日本株式オープン (以下「米ドル建 米ドルヘッジ」ということがあります。)および豪ドル建 豪ドルヘッジ 国際・キャピタル 日本株式オープン(以下「豪ドル建 豪ドルヘッジ」ということがあります、米ドル建 米ドルヘッジと総称してまたは個別に「サブ・ファンド」といいます。)は、2024年9月30日に終了しました。
サブ・ファンドの投資目的は、主としてわが国の金融商品取引所に上場している株式等(これに準ずるものを含みます。)に投資するコクサイ・トラストージャパン・エクイティ・マスター・ファンド(以下「投資先ファンド」といいます。)の各クラス受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指すことでした。最終計算期間である第11期(以下「当期」ということがあります。)につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、第11期の運用状況をご報告申し上げます。ご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

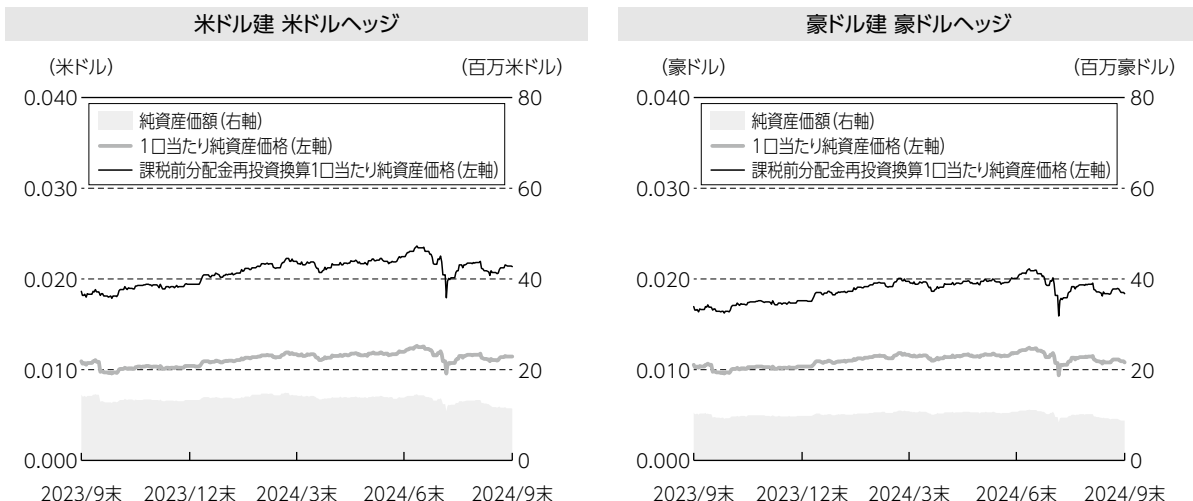
第11期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
米ドル建 米ドルヘッジ	0.011430米ドル	11,393,528.96米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジ	0.010806豪ドル	8,745,522.27豪ドル
第11期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 米ドルヘッジ	14.89%	0.000943米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジ	8.44%	0.000571豪ドル

(注1) 1口当たり純資産価格および純資産価額は、評価日(第11期末については終了日)付で公表された1口当たり純資産価格および純資産価額を記載しており、償還運用報告書(全体版)に記載されているサブ・ファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下同じです。
(注2) 騰落率は、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出した評価日(第11期末については終了日)付の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。
(注3) 1口当たり分配金の金額は、税引前の金額を記載しています。以下同じです。

《運用経過》

【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

- (注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したもので、サブ・ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
(注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、運用開始日(2014年2月19日)の受益証券1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。
(注3) サブ・ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注4) サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。



	第10期末の 1口当たり純資産価格:	第11期末の 1口当たり純資産価格	第11期中の 1口当たり分配金合計額:	騰落率:
米ドル建 米ドルヘッジ	0.010912米ドル	0.011430米ドル	0.000943米ドル	14.89%
豪ドル建 豪ドルヘッジ	0.010549豪ドル	0.010806豪ドル	0.000571豪ドル	8.44%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

米ドル建 米ドルヘッジ

- 国内株式市場が上昇した中、投資先ファンドの組入銘柄(リクルートホールディングスや、日立製作所など)の株価上昇が1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。
- 投資先ファンドにおける円売り/米ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が、1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。

豪ドル建 豪ドルヘッジ

- 国内株式市場が上昇した中、投資先ファンドの組入銘柄(リクルートホールディングスや、日立製作所など)の株価上昇が1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。
- 投資先ファンドにおける円売り/豪ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が、1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。

【費用の明細】

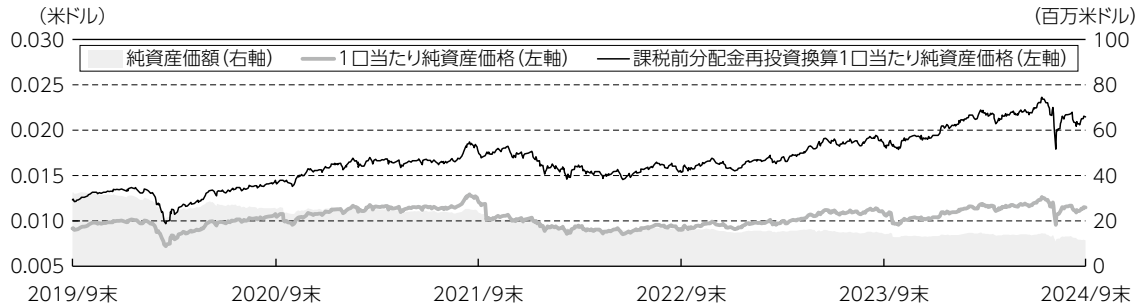
項 目	項目の概要													
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.04%	信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。												
投資顧問報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.35%	投資顧問契約に基づく投資顧問業務の対価として、投資顧問会社に支払われます。												
受託報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.01% (各サブ・ファンドにつき最低年間10,000米ドル)	信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。												
管理事務代行報酬 および 名義書換事務代行報酬	<table><thead><tr><th>各サブ・ファンドの純資産価額</th><th>対純資産価額の料率</th></tr></thead><tbody><tr><td>5億米ドル／5億豪ドルまでの部分について</td><td>年率0.05%</td></tr><tr><td>5億米ドル／5億豪ドル超</td><td></td></tr><tr><td>10億米ドル／10億豪ドルまでの部分について</td><td>年率0.04%</td></tr><tr><td>10億米ドル／10億豪ドル超の部分について</td><td>年率0.03%</td></tr><tr><td>(各サブ・ファンドにつき最低月間3,750米ドル)</td><td></td></tr></tbody></table>	各サブ・ファンドの純資産価額	対純資産価額の料率	5億米ドル／5億豪ドルまでの部分について	年率0.05%	5億米ドル／5億豪ドル超		10億米ドル／10億豪ドルまでの部分について	年率0.04%	10億米ドル／10億豪ドル超の部分について	年率0.03%	(各サブ・ファンドにつき最低月間3,750米ドル)		管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務および名義書換事務代行業務の対価として、管理事務代行会社兼名義書換事務代行会社に支払われます。
各サブ・ファンドの純資産価額	対純資産価額の料率													
5億米ドル／5億豪ドルまでの部分について	年率0.05%													
5億米ドル／5億豪ドル超														
10億米ドル／10億豪ドルまでの部分について	年率0.04%													
10億米ドル／10億豪ドル超の部分について	年率0.03%													
(各サブ・ファンドにつき最低月間3,750米ドル)														
保管報酬	合意済の取引手数料の支払、適切な裏付けのある立替費用の払戻しを受けます(最低月間400米ドル)。	保管契約に基づく保管業務の対価として、保管会社に支払われます。												
販売報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.70%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。												
代行協会員報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.05%	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社へ送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。												
その他の費用(当期)	—	サブ・ファンドの設立に関する費用、投資関連費用、運営費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等を含みます。)、およびその他すべての管理費用として支払われます。												

(注1)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。なお、各サブ・ファンドの当期末における財務書類上の純資産価額は0米ドルおよび0豪ドルであることから、当期のその他の費用の金額を各サブ・ファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率は表示していません。

(注2)各項目の費用は、サブ・ファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】

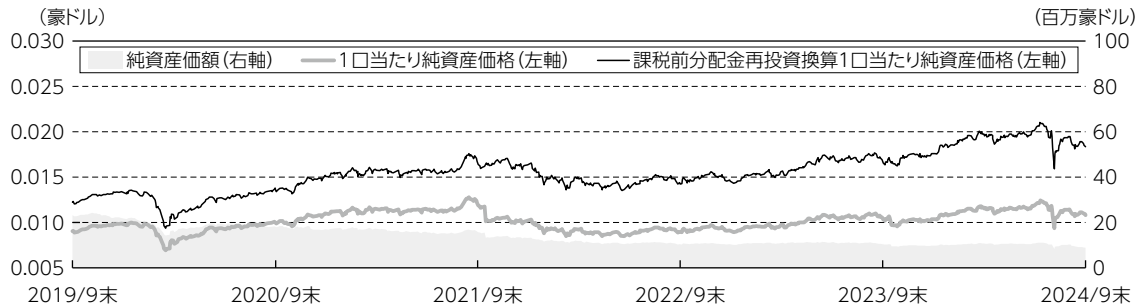
米ドル建 米ドルヘッジ



	第6期末 2019年9月末日	第7期末 2020年9月末日	第8期末 2021年9月末日	第9期末 2022年9月末日	第10期末 2023年9月末日	第11期末 2024年9月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.009148	0.010568	0.012318	0.009012	0.010912	0.011430
1口当たり分配金額 (米ドル)	0.000596	0	0.000746	0.001820	0	0.000943
騰落率 (%)	-11.15	15.52	25.21	-13.69	21.08	14.89
純資産価額 (米ドル)	32,462,961.35	25,629,825.25	24,107,152.68	15,556,459.91	14,443,518.37	11,393,528.96

(注)米ドル建 米ドルヘッジにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

豪ドル建 豪ドルヘッジ



	第6期末 2019年9月末日	第7期末 2020年9月末日	第8期末 2021年9月末日	第9期末 2022年9月末日	第10期末 2023年9月末日	第11期末 2024年9月末日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	0.009032	0.009994	0.012165	0.008866	0.010549	0.010806
1口当たり分配金額 (豪ドル)	0.000509	0	0.000159	0.001672	0	0.000571
騰落率 (%)	-12.30	10.65	23.65	-15.08	18.98	8.44
純資産価額 (豪ドル)	23,022,655.00	18,122,791.65	15,853,458.19	10,235,764.92	10,452,642.94	8,745,522.27

(注)豪ドル建 豪ドルヘッジにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

【投資環境について】

国内株式市場は、当期を通してみると上昇しました。

当期の初めから2024年7月前半にかけては、日銀の金融政策修正観測などを背景に国内の長期金利が上昇し、金融関連企業の業績改善期待が高まったことなどから、国内株式市場は上昇しました。2024年7月後半から8月の月初にかけては、米国の景気後退が懸念されて米国株式が下落したことや、日米金融政策の方向性の違いから円高が大幅に進行したことなどが嫌気され、国内株式市場は大きく下落しました。その後は、米国の景気後退に関する過度な懸念が和らいだことや、国内の堅調な一部経済指標などを受けて、国内株式市場は上昇しました。

【ポートフォリオについて】

サブ・ファンドは、投資先ファンドの各クラス受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。以下は、投資先ファンドのポートフォリオに関する説明です。

- ・投資先ファンドでは、わが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。
- ・TOPIX[®]配当込み指数をベンチマークとし円ベースで超過収益の獲得を目指しました。
- ・企業の収益性、成長性、安定性などを総合的に勘案して銘柄の選定を行いました。
- ・ファンダメンタルズ調査に基づく銘柄選択により超過収益の獲得を目指すボトムアップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行いました。
- ・複数のポートフォリオ・マネージャーで構成する運用体制を通じて、投資対象やアイディアの分散を図り、安定的かつ継続的な運用成果の獲得を目指しました。
- ・その結果、リクルートホールディングスや、日立製作所などの株価上昇が投資先ファンドにプラスに寄与しました。
- ・償還に向けて、2024年9月から保有資産を売却し、安定運用へ切り替えました。

(米ドル建 米ドルヘッジ クラス)

- ・投資先ファンドの米ドル建 米ドルヘッジ クラスにおいては、その円建の組入資産について、かかる円資産が実質的に米ドル建となるように円売り／米ドル買いの為替取引を行いました。円売り／米ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が1口当たり純資産価格に対してプラスに寄与しました。
- ・償還に向けて、2024年9月から、投資先ファンドの売却と、円売り／米ドル買いの為替取引の解消を行い、安定運用へ切り替えました。

(豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス)

- ・投資先ファンドの豪ドル建 豪ドルヘッジ クラスにおいては、その円建の組入資産について、かかる円資産が実質的に豪ドル建となるように円売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。円売り／豪ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が1口当たり純資産価格に対してプラスに寄与しました。
- ・償還に向けて、2024年9月から、投資先ファンドの売却と、円売り／豪ドル買いの為替取引の解消を行い、安定運用へ切り替えました。

【分配金について】

当期(2023年10月1日～2024年9月30日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル建 米ドルヘッジ

(金額:米ドル)

分配落日 ^(注1)	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注2))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注3)
2023/10/16	0.009738	0.000943 (8.83%)	0.001384

(注1)「分配落日」には、分配方針に基づき当該日における分配が可能であったが実際には分配金が支払われなかった日を含みます。以下同じです。

(注2)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、サブ・ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注3)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4)2023年10月16日の直前の分配落日(2022年10月14日)における1口当たり純資産価格は、0.009297米ドルでした。

豪ドル建 豪ドルヘッジ

(金額:豪ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2023/10/16	0.009739	0.000571 (5.54%)	0.001166

(注)2023年10月16日の直前の分配落日(2022年10月14日)における1口当たり純資産価格は、0.009144豪ドルでした。

《今後の運用方針》

該当事項はありません。

《お知らせ》

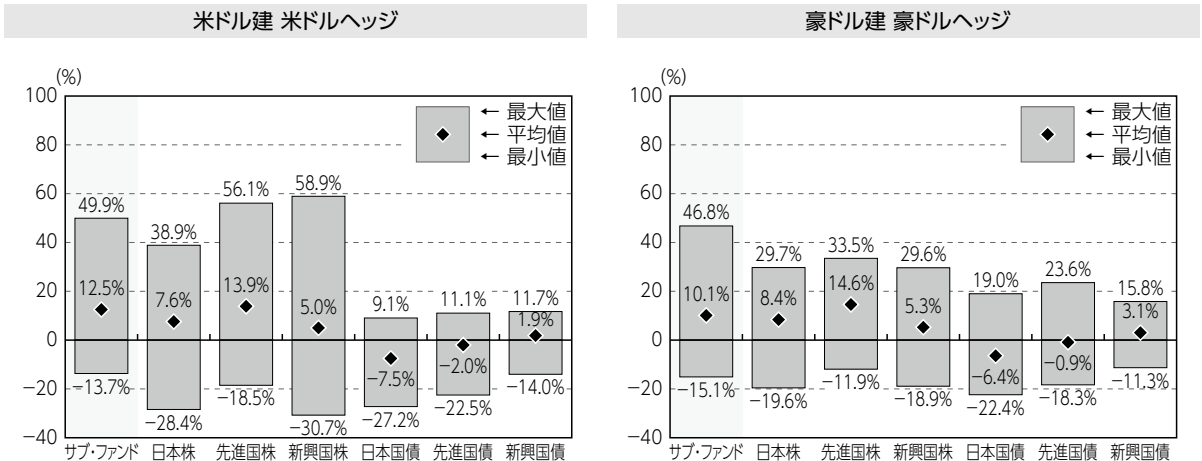
サブ・ファンドは、2024年9月30日に終了しました。償還金は、日本における販売会社を通じて受益者のみなさまにお支払いしました。

《サブ・ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型	
信託期間	サブ・ファンドは、2014年2月19日に運用を開始し、2024年9月30日に終了しました。	
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、主としてわが国の金融商品取引所に上場している株式等(これに準ずるものを含みます。)に投資する投資先ファンドの各クラス受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指すことでした。	
主要投資対象	サブ・ファンド	コクサイ・トラスト ージャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス ージャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス
	コクサイ・トラスト ージャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス ージャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス	わが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)
サブ・ファンドの運用方法	ケイマン諸島籍の投資信託であるコクサイ・トラストのサブ・ファンドである投資先ファンドに投資することにより運用しました。	
分配方針	管理会社は、その裁量により、経費控除後の利子・配当等収益、売買益(評価益を含みます。)および分配可能な元本から毎年10月14日(または、当該日が営業日でない場合には翌営業日)に分配を宣言することができました。	

(参考情報)

● サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業が作成

※全ての資産クラスがサブ・ファンドの投資対象とは限りません。

※2019年10月から2024年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、サブ・ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※このグラフは、サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

米ドル建 米ドルヘッジ

日 本 株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

豪ドル建 豪ドルヘッジ

日 本 株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (豪ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (豪ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (豪ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (豪ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

《ファンドデータ》

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

該当事項はありません(2024年9月末日現在)。

【純資産等】

第11期末			
	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドル建 米ドルヘッジ	11,393,528.96米ドル	996,798,208口	0.011430米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジ	8,745,522.27豪ドル	809,334,031口	0.010806豪ドル

(単位:口)

第11期中			
	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドル建 米ドルヘッジ	31,661,488 (31,661,488)	358,530,727 (358,530,727)	996,798,208 (996,798,208)
豪ドル建 豪ドルヘッジ	31,923,207 (31,923,207)	213,422,433 (213,422,433)	809,334,031 (809,334,031)

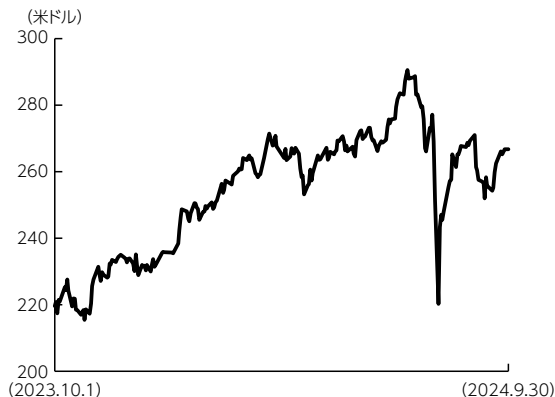
(注1) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。
(注2) 第11期中の買戻口数および第11期末の発行済口数は、サブ・ファンドの終了日における償還前の受益証券買戻口数および受益証券発行済口数であり、償還後の口数を記載した財務書類における数値とは異なります。

【投資先ファンドの概要】(2023年10月1日～2024年9月30日)

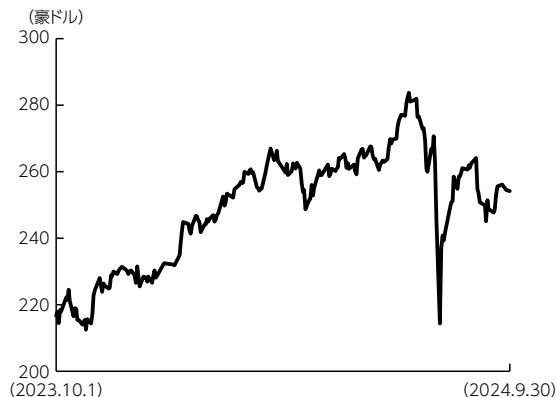
コクサイ・トラストー ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス
ー ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス

● 1口当たり純資産価格の推移

コクサイ・トラストー
ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス



コクサイ・トラストー
ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス



● 投資先ファンド保有銘柄情報

投資先ファンドの米ドル建 米ドルヘッジ クラスおよび豪ドル建 豪ドルヘッジ クラスは、2024年9月30日に終了したため、同日現在、有価証券等の組入れはありません。

● 投資先ファンド費用の明細

(2023年10月1日～2024年9月30日)

項 目	項目の概要	
受託報酬	最低年間報酬約10,000米ドルならびに追加時間分の報酬、経費および当初費用等に加え、投資先ファンドの純資産価額の年率0.01%	
投資運用報酬および 為替管理代理人報酬	投資先ファンドの純資産価額の年率0.64%	
管理事務代行報酬	投資先ファンドの純資産価額	料率
	5億米ドルまでの部分について	年率0.09%
	5億米ドル超 10億米ドルまでの部分について	年率0.08%
	10億米ドル超の部分について (最低月間報酬3,750米ドル)	年率0.07%
その他の費用	—	

(注)各報酬については、投資先ファンドの目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。なお、上記期間末における投資先ファンドの米ドル建 米ドルヘッジ クラスおよび豪ドル建 豪ドルヘッジ クラスの財務書類上の純資産総額は0米ドルおよび0豪ドルであることから、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率は表示していません。

● 資産別配分

該当事項はありません
(2024年9月末日現在)。

● 国・地域別配分

該当事項はありません
(2024年9月末日現在)。

● 通貨別配分

該当事項はありません
(2024年9月末日現在)。